



第 16 号

平成13年11月1日
関西大学ギタークラブ
OB会 発行

機関紙編集委員会

上田 新平 (6期)

高本 健児 (9期)

(ホームページ)
<http://homepage2.nifty.com/kguc-ob>

第3回OBコンサート開催!

平成13年10月7日(日) メイシアター中ホール

平成5年3月21日、OBのみの出演による初のコンサートを開催し、次回の開催日を検討の結果、「4年に一度の開催」として、第2回コンサートはその4年後の平成9年3月23日に開催。そしてそのまた4年後の本年10月7日に予定通り第3回コンサートを開催した。

会場は第1回、第2回と同じく吹田市文化会館メイシアターだが今回はこれまでの大ホールとは違い中ホールでの開催となった。これは初のコンサートとして開催された「第1回」と比較して「第2回」は7〜8

割の規模になったというデパートに基づいて、今回が中ホールにての開催を妥当としたもの。結果は実行委員会の示唆通りで多方面に渡り「第2回」の7割位、「第1回」の5割位の規模に留まった。これらの細かい数字は現時点で未集計だが粗方は本文中に掲載した。

さて、コンサート当日は出演者・スタッフとも朝9時に集合。第1回第2回ともに3月の開催で両日ともかなり肌寒い気候だったが、今回は10月の開催ということで暑くもなく寒くもなく、おまけに快晴と恵まれた状

況下での集合となった。集まった出演者・スタッフ数は55名。「第2回」が87名、「第1回」は100名を超えていた事を考えても、今回はスケジュールなどの連絡業務も慣れも手伝ってか極めてスムーズに運んだと言える。

第3回コンサートは過去2回と大きく違うところはアンサンブルの数を増やした事。「第1回」

がラテンとパロックとポピュラー、「第2回」がラテンとパロックのみであったのに対して、今回はラテン・パロックに加えて、ベンチャーズ、演歌の合計4つのアンサンブルで構成した。その為、マイク・照明テストで予定以上に時間が取られ、1時30分の開場まではややタイトなスケジュール進行となった。観客数は約150人。中ホールの座席数が492席だから



28期の塩山元繁さん





パロックアンサンブル

パロックアンサンブルは、合奏が、演奏者と言えども大勢はもと現役時代のソリストやリーダー・指揮者などの

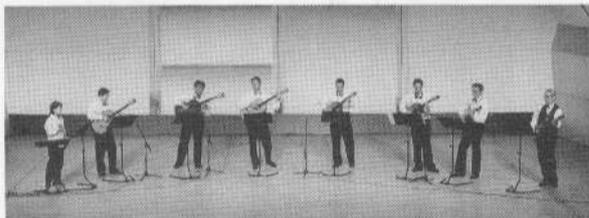
ら極端にバラバラという風にも見えない。過去2回のように大ホール(1397席)を使用しては... さて、コンサートの内容の方だが、これまでの練習参加状況やリハーサルの様子などからみても実行委員会ではかなり心配していたが、本番はいずれのステージもほぼ練習時通り、ある



ラテンアンサンブル

集まりだから本番には強いといえるのか、も知れない。司会者は第28期の塩山元繁さんで、実は第2回時に大谷女子大出身の石崎さん

さんプロと2人で掛け合いをやってももう予定にない断念、今回ようやく実現する事となった。塩山さんももちろんプロで、結婚式やパーティーの司会等を中心に活躍しているが、現在びわ湖放送テレビ・午後10時から放送「ニューズウェーブ」の木・金曜日にニュースキャスターとして出演している。OBコンサートではOBという事で全くのノーギャラで出ていたのだが、彼自身もかなり楽しめたという事で次回コンサートにも是非出演したいとの事。プログラムは3ページの通り。3部構成で1部はクラシックギター本来の持味を、2部は色もの、3部は大方のレイアウト通り大合奏で締めくくりになった。1部1番の二重奏は極めて正統派のソルを選曲、演奏も内容を深く追求した正統派の演奏だった。次にソロ2題。前回に引き続き1期の根本さんと2期の岩井さん。前回は根本さんが「アルハンブラ」で岩井さんが「イエスタデイ」と、クラ



ベンチャーズアンサンブル

シックとポップスを織りまぜ観客を退屈させないパランスが取られていたが、今回も同じく根本さんが「魔笛」、岩井さんが「ゆず」の「少年」と「サヨナラパス」でやはり緩急のついたプログラムとなった。4番目は四重奏でガーシュインの「パリのアマリカ人」をリコーダーをフィーチャーしたアレンジで。原曲が18分位掛かるところいいところ取りで約半分の9分に集約、聴きやすく楽しめた、と好評だった。1部最後はパロックアンサンブル。メンバーは9名だが歴代の有力独奏者など小精鋭で危なげない快演だった。2部は先に述べた通り「色もの」で構成。ラテン、ベンチャーズ、演歌の各アンサンブルだが、目立ったのは



何と言っても演歌アンサンブル。大正琴を使用した事も要因のひとつだが、極めつけは9期の竹本さんと7期の咲田さんのヴォーカルだ。ピンスポットと、ミラーボールの舞台で歌うさまはもはやOBコンサートではなく何か歌合戦のようだった。これまでは2部の最後にラテンアンサンブルを持って来るのが通例であった。もちろんラテンがあまりにも派手なため次に来るステージが冴えないという理由からだが、今回は演歌を最後に持って来た、というよりも持って来ざるを得ないというのが本当のところだ。

そんなラテンアンサンブルだが、今回はフォルクロレを中心に選曲したため少々地味であったのは否めない。ともあれ関西大学ギタークラブの花形である事には違ひなく概ね好評であった。今回の異色ステージのもうひとつはベンチャーズアンサンブル。ギタークラブの通念では考えられない発想だが、この提言者が以外や以外、現役当時クラシック音楽のカリスマ的存在だった6期の橘さんが上るとまたまたビックリ、なんとスタンディングでの演奏だ。これはこの世界では大変珍しい(ひょっと



大正琴も登場

PROGRAM

【第1部】

- ① **2重奏**
【出演者】 幻想曲op54bis. (F. ソル)
坂田 年正(16期) 上月孝一(18期)
- ② **独奏**
【出演者】 魔笛の主題による変奏曲 (F. ソル)
根本 善弘(1期)
- ③ **独奏**
【出演者】 少年、サヨナラパス (北川悠仁/田島道生: 編曲)
岩井 英二(2期)
- ④ **4重奏**
【出演者】 バリのアメリカ人 (G. ガーシュイン/高本健児: 編曲)
高本 健児(9期) 浅野 一則(10期)
野中けい子(14期) 森兼 弘(17期)

⑤ バロックアンサンブル

【演奏曲目】 ブランデンブルグ協奏曲第3番 (J.S. バッハ/木村浩三: 編曲)
【出演者】
◎リーダー: 木村 浩三(19期)
浅野 一則(10期) 市場 信行(14期) 楠本 正行(15期) 坂田 年正(16期)
遠藤 厚(16期) 上月 孝一(18期) 前田 佳宣(19期) 安田 貞之(19期)

【第2部】

⑥ ラテンアンサンブル

【演奏曲目】 海と空 J. ロドリゲス (浦野豊彦: 編曲)
イパネマの娘 A. C. ジョビン (浦野豊彦: 編曲)
忘却の種子 R. トーレス & U. ラモス (浦野豊彦: 編曲)
灰色の瞳 T. ヴェリス & U. ラモス (浦野豊彦: 編曲)
コンドルは飛んで行く D. A. ロブレス (浦野豊彦: 編曲)
【出演者】
◎リーダー: レキント: 浦野 豊彦(14期)
宮川 真一(7期) 中島 晃(8期) 中島 るり(9期) 井上 享(9期)
高本 健児(9期) 山本 直次(12期) 山口 勉(14期) 安宅 恒夫(14期)
野口伸一郎(16期) 遠藤 厚(16期) 本郷 淳(20期) 小林 千晃(23期)
西尾 朋久(31期) 兼松 利之(31期) 西尾 千鶴(33期) 兼松 綾子(33期)

⑦ ベンチャーズアンサンブル

【演奏曲目】 クルエルシー (橋由美子: 編曲)
京都縁情〜雨の御堂筋 (橋由美子: 編曲)
パイプライン (橋由美子: 編曲)
【出演者】
◎リーダー: 橋 由美子(6期)
宇野 哲夫(5期) 西尾 保弘(6期) 上田 新平(6期) 夏目 隆由(12期)
小野 益男(12期) 山本 直次(12期) 林 信之(22期)

⑧ 演歌アンサンブル

【演奏曲目】 酒は涙か溜めぬか 古賀政夫 (竹本真一: 編曲)
与作 七沢公典 (竹本真一: 編曲)
北酒場 中村泰士 (竹本真一: 編曲)
川の流れるように 見岳 章 (竹本真一: 編曲)
【出演者】
◎リーダー: 竹本 真一(9期)
富井 善之(4期) 宇野 哲夫(5期) 西尾 保弘(6期) 宮川 真一(7期)
咲田 規子(7期) 中島 晃(8期) 藤井 隆(9期) 井上 享(9期)
中島 るり(9期) 夏目 隆由(12期) 青木 敏明(12期) 小野 益男(12期)
吉岡 努(13期) 山口 勉(14期) 野中けい子(14期) 楠本 正行(15期)
本郷 淳(20期)

【第3部】

⑨ 大合奏

【演奏曲目】 アルハンブラの思い出 F. タレガ (佐野正隆: 編曲)
タンゴ 二長調 I. アルベニス (高本健児: 編曲)
グラナダ I. アルベニス (高本健児: 編曲)
アストリアス I. アルベニス (高本健児: 編曲)
火祭りの踊り M. D. フェリャ (高本健児: 編曲)
(ENDING) T S U N A M I 桑田佳祐 (高本健児: 編曲)
【出演者】
◎指揮者: 井上 享(9期)
竹本 真一(9期) 高本 健児(9期) 夏目 隆由(12期) 青木 敏明(12期)
小野 益男(12期) 吉岡 努(13期) 大栗美由紀(13期) 浦野 豊彦(14期)
山口 勉(14期) 井坂 佳弘(14期) 野中けい子(14期) 江島 茂(14期)
楠本 正行(15期) 表具 正隆(15期) 野口伸一郎(16期) 森兼 弘(17期)
大川 賢一(17期) 本郷 淳(20期) 林 信之(22期)

して始めて?)。まさにO
B会ならでは、という第2
部のステージだった。
OB会らしさと言えども
うひとつは司会者だ。単に
奏者や曲目を紹介するだけ
ではなく奏者へのインタビ
ューなどが盛り込まれてお
り和やかなムードで進行し

ていくのだが、司会者の
“のり”も良すぎてか2部
終了までで予定時間をかな
りオーバーしてしまってい
た。2回目の休憩時間を5
分短縮して3部へ望む事と
なつてしまった。3部は大
合奏だが、通例ではここで
「祝電・贈り物の紹介」と

なる筈だが今回はこれを省
略?、いや実は全くゼロで
した寂しい。
大合奏の幕開けもこれま
でとはひと工夫して、緞帳
が上がるのと同時に「アル
ハンブラの思い出」の演奏
がスタート、演奏が終わっ
てから指揮者の紹介となっ

た。次に3曲を演奏してか
ら司会者が登場・最後の曲
を紹介、エンディングはパ
ンフレットでは紹介されて
いないサザンオールスター
ズの「T S U N A M I」を
演奏。演奏上で実行委員長
の14期の浦野さんのお礼の
挨拶で幕締めとなった。



打上げ

打ち上げ は前回と
同様同会館3階のレセプシ
ョンホールにて立食のスタ
イルで開催。参加者は53名
で前回103名の半分強。
前回は出演者数の68名に対
して103名の参加だった
が、今回は出演者数47名に



大合奏

対して53名の参加だった。前回のデータを参考に80名の料理を注文していただけに、こちらは参加者も大満足。数こそ前回の約半分になったが参加している人

にとっては各々達成感もあって、話はずみ笑いがあるふれ、いつもとかわらぬ盛り上がりを見せていた。

次期委員長は 打上げ会場で、次期実行委員長に20期の本郷さんを推薦する声が上がった。その場で満場一致の拍手が沸き起こり段上り上がる事を余儀なくさせられた本郷さん、実はこの打上げ会場には奥さん、子供さん一家総出で来場中だった。奇しくも本郷さんは家族の前で就任の挨拶をするはめになった。

取り敢えずはこんな風に次期委員長が決定した訳だが、さすがの本郷氏のコメントは「第4回コンサート(を)やる・やらないを視野に入れて委員長を引き受ける、とした。」

果たして第4回コンサートは実現するのか。トは実現するののか。

労頂く事になった。おかげでプログラムもスムーズに進行する事が出来た。自分達の事に一所懸命にやってくれた現役生の皆さん、ありがとうございます。本番の写真班には、8期・9期の中島さんご夫妻のご子息に応援して頂いた。息子さんは大阪芸術大学の写真科の四回生。リハーサル・本番・打上げからスナックまで網羅して、250カット程撮って頂いた。舞台応援に来ていた現役生にも依頼され今年の関大の定演も担当する事になった。それだ。

また、本番に駆けつけて下さったOB4期の林さん、6期の墨さんから御祝儀を、パンフレットの広告では、ル・本番・打上げからスナックまで網羅して、250カット程撮って頂いた。舞台応援に来ていた現役生にも依頼され今年の関大の定演も担当する事になった。それだ。

第4回 コンサートについては、実行委員会の間では早くから「可能性」等について懸念している大きな課題となっていた。

下欄の表を見て頂くとお分かりの様に、回を重ねる毎に多方面に渡って「小さくなっていく」OBコンサートだが、出演を希望した人にとっては「第1回」「第2回」の時と同じく練習に励み、本番を待ち望んでいた事に変わりはなく、打上げの盛り上がりもそれを物語っている。問題は出演側、傍聴側双方の絶対数が減少してきているという事。これは概ね自然現象でもありと思われるが、今後もOBコンサートを励行するとなると、実行委員会としてはこの自然現象を打破しなくては実現の可能性は見えないと言えぬ。

以下の方々に協力頂きました。ありがとうございます。グラナダ・中野勝城、猪居信之ギョー教室、「株」フレックト楽器オザキ、ファナ大阪現代ギター社、エスパーニヤ、SMG菅勝、竹谷農園、3期・植田淳一、5期・名倉武英、17期・森兼弘、ゴルフ会・伍線会。

以下の方々に協力頂きました。ありがとうございます。グラナダ・中野勝城、猪居信之ギョー教室、「株」フレックト楽器オザキ、ファナ大阪現代ギター社、エスパーニヤ、SMG菅勝、竹谷農園、3期・植田淳一、5期・名倉武英、17期・森兼弘、ゴルフ会・伍線会。

以下の方々に協力頂きました。ありがとうございます。グラナダ・中野勝城、猪居信之ギョー教室、「株」フレックト楽器オザキ、ファナ大阪現代ギター社、エスパーニヤ、SMG菅勝、竹谷農園、3期・植田淳一、5期・名倉武英、17期・森兼弘、ゴルフ会・伍線会。

以下の方々に協力頂きました。ありがとうございます。グラナダ・中野勝城、猪居信之ギョー教室、「株」フレックト楽器オザキ、ファナ大阪現代ギター社、エスパーニヤ、SMG菅勝、竹谷農園、3期・植田淳一、5期・名倉武英、17期・森兼弘、ゴルフ会・伍線会。

OBコンサート概略報告

※10月20現在未集計分あり

	第1回	第2回	第3回
出演者数	86名	67名	47名
申込者数	139名	99名	73名
来場者数	521人	352人	150人
	◎OB42名	◎OB35名	◎OB21名
打上げ参加者数	93名 (内現役生22名)	103名 (内現役生15名)	53名 (内現役生0名)
(収入の部)			
出演参加費	968,000 (8,000/1人)	778,000 (10,000/人)	495,000 (10,000/人)
(出演者)	668,000 (86名)	658,000 (67名)	445,000 (47名)
(非出演者)	300,000	120,000	40,000
広告代	165,000 (21件)	95,000 (14件)	73,000 (12件)
カンパ	241,000 (17件)	110,000 (9件)	15,000 (2件)
雑収入	27,072	23,000	0
収入合計	1,401,072	1,006,000	583,000
(支出の部)			
ホール	284,489	352,291 (Rホール)	? (Rホール)
パン等印刷費	191,004 (20頁)	140,800 (16頁)	? (12頁)
撮影代	250,000	100,000	0
お礼	123,000	70,000	20,000
弁当代	43,211	2,000	48,000
打上げ	41,370	101,934	103,725
支出合計	1,358,833	1,019,460	?
<収支>	43,139	△13,460	?

コンサートを終えて

OBコンサート実行委員長 第14期 浦野 豊彦

第3回OBコンサートに出演された皆さんお疲れさまでした。皆さんのおかげでコンサートも無事に終わる事が出来ました。

今回のコンサートのコンセプトは「楽しく演奏しよう！」でしたが、皆さんの演奏されている様子を拝見していて、コンセプト通りに出来たように思



われました。(「画自賛!」私自身ラテンアンサンブルをさせて頂きましたが、非常に楽しく演奏出来ました。また今回は、冒険とも無謀とも

関学も初のOB演奏会

関西学院大学文化総務部クラシックギタークラブでは昨年7月にOB総会を開

間での開催だった。従って関大関係者は残念ながら不参加となってしまった。

催、92名のOBが出席し華々しくOB会を立上げた。その勢いで本年10月にはOB演奏会を開催した。が、日程が良くなかった。なんと、我が第3回OBコンサートと全く同じ日、同じ時

演奏会は10月7日(日)午後2時、千里共栄生命ホールにて開催。アンサンブルは組み入れずに独奏・重奏をメインとしたプログラムだが、ラストは大合奏で締めくくった。

言える演歌アンサンブル、ベンチャーズアンサンブルを新設しましたが、楽しそうに演奏されている皆さんを拝見して「やってみてよかった!」と実感しました。

(練習は3ステージの人が多かったので大変だったと思います。また31期、33期の方も参加して頂いて大変ありがたく思っています。これらの理由からも今回の演奏会は成功だったと思います。これで私も大役を終える事が出来ました。

次の方にお願ひですが、いい雰囲気になって来ていますので、出来ればこの状態を続けていって欲しいと思います。

最後に、私は出張が多くて実行委員の皆さんに大変ご迷惑をかけて申し訳ありませんでした。また、今回出演して下さいました。P.S) 今回の予定で出演出来なかった皆さん、変な日程になってしまい申し訳ありませんでした。

現役生コーナー

関西大学ギタークラブの現在の部員数は一回生が20名、二回生が16名、三回生が15名、四回生が10名の合計61名です。全盛期の部員数の事を思

えば少ないように思えますが、61名といえは阪大、関学と共に関西ではトップクラスという事です。質実剛健を校風とする関大も近年は女子学生が増え、ギタークラブもほぼ半数が女性になりました。大合奏の指揮者も昨年に続き女性です。華やかな定演には是非お出向き下さい。

第39回定期演奏会

平成13年11月21日(水)
吹田市文化会館メイシアター中ホール

【第1部】

- 四重奏
AMERICANA(J.W.Duarte)
- 4回生ステージ
VOLARE(NEL BLU DI PIN TO DI BLU)
Dancing Queen
- ロシアンミュージック・アンサンブル
カリンカ
バレエ組曲「くるみ割り人形」より葦笛の踊り
カマリンスカヤ

【第2部】

- 異邦人音楽部隊
All'bout the money
Englishman In New York
How Deep Is Your Love
- クラシック・ソロ
サンバースト(A.ヨーク)
ムンタン(A.ヨーク)
- 部長ステージ
ルパン三世のテーマ
はじめてのチュウ「キテレツ大百科」より
宇宙戦艦ヤマト
- クラシック・ソロ
グランソロ op.14(F.ソル)

【第3部】

- 大合奏
喜歌劇「天国と地獄」序曲(J.オッフエンバック)

今年の主な活動

- 1/8 部会
- 2/8 さよならコンサート、追い出しコンバ(居酒屋・串松)
- 3/9~15 春合宿(鉢伏高原・つるや)
- 3/20 立命館大学との交歓演奏会(立命館大学)
- 4/28, 29 新入生歓迎オリエンテーション(高槻セミナーハウス)
- 5/13 第1回研究発表会(関西外国語大学)
- 5/17 第34回独奏演奏会(メイシアター小ホール)
- 6/17 第38回定期合同演奏会(高槻現代劇場中ホール)
- 7/30 前期総会
- 9/6~13 夏合宿(花園村ふるさとセンターねむの木)
- 10/14 第2回研究発表会(関西外国語大学)
- 11/21 第39回定期演奏会(メイシアター中ホール)

現役 合同 リクレーション 大会

バーベキュー大会

現役合同リクレーションも昨年で12回を数えるに至りました。リクレーションとは言っても、平成6年以來昨年まで連続7回、バー

ベキューをやっています。それまでとは違った試みとして始めた「バーベキュー大会」ですが思った以上に好評です。かなり定着した感

イションの方も、食材の量の方もパッチリでした。

現役生の

間でも「現役合同バーベキュー大会」と呼ぶ者もぼちぼち現れはじめています。OBが6名とその家族が4名、現役生は部長の浜田君、次期部長の井上君、同じく指揮者の坂東さん(役職名は

橋の下の癒りない面々?

OBが6名とその家族が4名、現役生は部長の浜田君、次期部長の井上君、同じく指揮者の坂東さん(役職名は

たお天気のもと開催してきました。ところが遂にやってきた悪天候、前日から早朝から殺到(?)する問合せに対し「最悪は橋の下がある」と言う事で決行しました。当日は小雨ではあるが降ったり止んだり悪天候で、本当に橋の下で行なう事となってしまいました。橋の下が全て悪いという事ではないのですが、この橋は電車が通るため騒音がす

ごくで肝心なお話が出来ないのであります。おまけにこの日は予期せぬ出来事が発生、どこやらのプラスパンドが橋の下で練習を始めたのです。電車が通らない間は静かな筈が四六時中騒音に悩まされたリクレーションでした。

今年もまた淀川でバーベキュー大会を行ないます。(下段参照)是非ご参加下さい。

OBが6名とその家族が4名、現役生は部長の浜田君、次期部長の井上君、同じく指揮者の坂東さん(役職名は

たお天気のもと開催してきました。ところが遂にやってきた悪天候、前日から早朝から殺到(?)する問合せに対し「最悪は橋の下がある」と言う事で決行しました。当日は小雨ではあるが降ったり止んだり悪天候で、本当に橋の下で行なう事となってしまいました。橋の下が全て悪いという事ではないのですが、この橋は電車が通るため騒音がす

ごくで肝心なお話が出来ないのであります。おまけにこの日は予期せぬ出来事が発生、どこやらのプラスパンドが橋の下で練習を始めたのです。電車が通らない間は静かな筈が四六時中騒音に悩まされたリクレーションでした。

今年もまた淀川でバーベキュー大会を行ないます。(下段参照)是非ご参加下さい。



晴れていたならこんな風に (第11回リクレーション)

第13回現役合同リクレーション バーベキュー大会

現役生との楽しいひとときを過ごしてみませんか。OBの方はご家族や友人も一緒に是非ご参加下さい。

- とき：12月2日(日) 午前10時
(地下鉄・西中島南方駅②番出口改札前集合)
- ところ：淀川河川公園・西中島地区
(地下鉄阪急(南方)より徒歩約5分)
- 費用：大人 3000円
子供 2000円 (小学生以下無料)
現役生 1500円

<問合> 稲生哲夫
木村浩三



平成13年度幹事会

ワースト記録OB出席者9名

幹事会出席者

- | | | |
|---------------------|----------|---------|
| 1期/根本善弘 | 5期/臼井彰彦 | 9期/竹本真一 |
| 9期/高本健児 | 10期/浅野一則 | 17期/森兼弘 |
| 19期/木村浩三 | 20期/田中忍 | 37期/原田豊 |
| 39期(現役四回生)/浜田学、間瀬浩志 | | |

毎年七夕前後の日曜日に開催する事になっていて、当幹事会だが、今年も例にもれず7月8日(日)に開催した。場所は今年の春より移転したエスパニーヤで、店内へは靴を脱いで入るため解放感が感じられる。出席者は幹事会始まって以来のワースト記録の9名+現役4回生2名の合計11名。

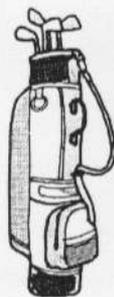
今年にはOBコンサート以外には特に目新しい行事もなく年に一度の幹事顔見せ会と言ったところだったが、会長は9期の竹本さんが就任以来初の出席となった。

現役四回生は前部長の浜田君、前チーフマネージャーの間瀬君の2人が出席。37期の原田さんは昨年の卒業生で、出席者の少なさに拍子抜けという事だった。OB会自体会員数がどんどん増えてきているが、OB会主催の行事の参加者は年々減少しているのが現状だ。こんな事も毎回議題に上がっているがこれといった結論はいまだ出ていない。

幹事会に関して言えば今年の出席対象者が52名で、対する出席者は17%にすぎないのだから本来「議決」などとは言うに及ばないレベルである。

さて今回も議長は17期の森兼氏で、議題は「事業報告」と「OBコンサート」のみ。ただ、「その他」の議題として「OB会のホームページの開設」が上がり、下欄に掲載した通りに決定。また、植田前会長を「顧問」として役員に留任してもらおう事などが決定した。

伍線会



伍線会 (OB会ゴルフ同好会) も今回で15回を数えようこれだけ飽きもせずやってきたなと正直な気持ち。皆勤賞の僕としたら一回3万円として45万もかかっているし、年上のおっさんばかりと芝刈りして何が面白いねんと他のOBは言うやろね。おまけにメンバー

OB会ホームページ開設!

お待たせしました。関西大学ギタークラブOB会の公式サイトです。OB会、現役生の情報をいち早く掲示します。管理者はOB会管理部の19期・木村浩三さんです。

<http://homepage2.nifty.com/kugc-ob>

<ギター関係者のホームページ>

エスパニーヤ <http://homepage2.nifty.com/ESPANA/>

グラナダ <http://www.ismusic.ne.jp/granada>

第5回独重奏演奏会

昨年12月10日(日)、辻久子記念弦楽アンサンブルホールにて第5回独重奏演奏会が開催されました。出演者はOBが10名で、現役生が3名、ステージ数は12でほぼ例年通り。ただ入場者



数は小雨という悪条件も重なってか、たったの30人、その内OBは6人でした。毎年開催をうたっている独重奏演奏会ですが、今年OBコンサートの開催年に当たると見送る事になりました。第6回独重奏演奏会は来年7月28日(日)午後2時吹田市文化会館メイシアターの小ホールで行ないます。

ハガキでの案内はしないのでホームページを見て下さい。詳細は19期の木村さんまで。出演者も募集していますので木村さんまでお申し込み下さい。

エスパニーヤ 移転しました

第10期の浅野さんが経営しているエスパニーヤが今年4月に移転しました。最寄り駅は地下鉄・心斎橋のままで、新しい店は駅のすぐ近くです。大丸と旧そごうの間の道を東へ、最初の4つ角を左折して約十メートルの左(北)側、ビル

の3階です。
 (住) 大阪市中央区心斎橋筋1丁目3-5 OGAWAビル
 3階 電話 06-6251-8066

~OBコンサート収録~
 ビデオテープ
 カセットテープ
 頒布致します。

第5回独重奏演奏会

- ビデオテープ ¥1000 (VHS・T-120 STEREO-HiFi)
- カセットテープ ¥1000 (C-90×2本組)

第3回OBコンサート

- ビデオテープ ¥2000 (VHS・T-160 STEREO-HiFi)
- カセットテープ ¥2000 (C-120×2本組)

※金額は送料込みです。
 《申込方法》
 ご希望の品名と郵送先を明記の上、現金書留にて下記へ郵送して下さい。

稻生 哲夫

〈20年ぶり〉 第十七期同窓会

第17期 青木 美樹

「子供は、親に自分と同じ十代の時があったのがわからない」何かで読んだ文です。まさに我が家の十七歳になる長男も、かつて母親がギ―部で青春時代を過ごしたことなど現実味のない様子。先日、彼に見せた十九歳の時の合宿での写真に、自分と二歳しか違わない母の姿はピンとこない様でした。

しかし、私にもかつて彼と同じ十代があり、大学四年間を共に過ごした仲間が確かにいたこと…そのことを思い出させてくれたのが二十年ぶりの十七期生の同窓会だったのです。

五月十九日、土曜の夕刻、梅田の片隅の小料理屋さんで、十五人の十七期生は顔を合わせたのでした。店を探して歩いていたら私は、皆が迷わない様、店の前で待

っていてくれた幹事役の大川氏に全く気づかず。彼は昔の体形のまま口ひげの似合う素敵なおじさんとなつて私の前に出現したのでした。それからの一次会。同じく幹事で十七期の部長だった森兼氏も腹に貫禄こそつめたものの、かわらず明朗、人徳ぶりを発揮。静岡からという青木氏も「均くん」の雰囲気。後輩と結婚した堤氏ももの静かな面影を残していました。愛夫に車で東京から送ってもらった旧立石嬢は上品なまま、夫、山根氏が仕事のため一人で広島から上阪した旧桑本嬢は今や公文の先生。同じく学研の先生という旧水原嬢はこの日のためにあてたストリートパーマも笑顔も輝いている。一番変わらなかったのはキャリアアウーマンとして活躍中の

長谷川嬢。十九歳になる息子の母とは思えない旧井上嬢は、あいかわらずスラリと背が高く、この日は姫路から。かつてインスタラクターとして水原嬢や私にスキーを教えてくれた松田氏は若々しい中年に。学生時代、皆より落ち着いた雰囲気だった吉藤氏は、皆が四十歳を超えた今や差もななく(汗)。水泳が得意な子供を嬉しそうに話す下出谷氏はすっかり良き父親ぶり。中堀氏は当時のコンサートマスターだったエリートぶりが残りスマートな中に。我々は二十歳の時を一緒に逆のぼり、おいに食べ、おいに飲み、二十年間の流れの中でそれぞれが背負ってきたものはひとまず足元におき、楽しいひと時を共有できたのでした。最後は当時のままの力強い

雰囲気岡本氏による口上、(よく覚えていました!) 逍遙歌、学歌がその小さい店いっぱいに響いたのでした。

かつてギタ一部劣等生で、今はその気持ちのわかる立場の私は、帰りの電車の中でうとうとしつつ、こう胸につぶやいていました。

又合おうねと言って別れたけど、今度は二十年に一度のペースは避けてもらおう。

だって美人薄命なんだからね…。

